

## 天声人語

髪形をいじるのは心機一転の表れでもある。日本維新の会の橋下徹氏が、おでこを出す正統「保守型」に変えた。この勝負髪で衆院選に挑むという。37歳上の石原慎太郎氏を新代表に迎えて、しおらしく従う覚悟らしい▶合流は第三極の受け皿を込め、既存政党や官僚支配への不満をさらう狙いとみえる。両氏の合意文書には「強くてしたたかな日本をつくる」と表題がついた。「弱くてお人よしの日本」は耐えがたい▶片や石原氏に気を使い、「原発ゼロ」の語は消えた。政策より大同団結、小異は捨てたというが、コーヒーと紅茶を混ぜたようなトタバタ感が漂う。色が似ていれぱいというものではない▶なるほど、コーヒー党、紅茶党の独自色より、候補者の調整が先に立つのが小選挙区制だ。野合との批判に、石原氏は「民主党や自民党が人のことを言えるのか」と反発、橋下氏も「趣味嗜好まで同じなら北朝鮮」と聞き直る▶とはいえ、地方分権や行政効率に重きを置く橋下氏の現実主義と、米中なにをするものぞの石原流がどう混じり合うのか。みんなの党や減税日本とも組むとなれば、昔の民主党顔負けの「選挙互助会」だ▶石原氏がほれたと公言する橋下氏は、政界でいう「じじごろし」に違いない。新代表を最強のリーダーと持ち上げ、ヘアスタイルを変えた。「何が目的か分からない年の差婚をした、したたかな女のよう」。きのこの東京紙面にあった、山本貴代さんの見立てに納得した。その縁の言因は知らない。

2012・11・19

購読・配達◇お申し込み0120-33-0843◇お尋ね03-5540-7715(7時~21時) 紙面関連◇ご質問03-5540-7616◇ご意見03-5540-7615(平日9~21時、土曜9~18時)